

平成 25 年 3 月 25 日、前田市長より以下の情報が届きました。

- ① 鎌田さんはナンチクと仮登記抹消の交渉を実施。
- ② ゴルフ場現地の仮登記と同時に別な土地を担保として出している。  
仮登記契約を行うに当って別不動産を担保とする契約を結んでいる。
- ③ その土地をナンチクへ渡すことを提案している。
- ④ ナンチクの判断待ちの状態である。
- ⑤ ナンチクが了承すれば、仮登記抹消は行われる。

この対応についてナンチクに質問しました。

ナンチクは融資した 2 億余円を現金で返して欲しいと当然の要求を鎌田さんに投げ返しています。鎌田さんはどのような対応をするか注視しなければなりません。  
ナンチクの仮登記が抹消されなければ、新規事業の銀行融資は実現しないでしょう。

ナンチクに対し、現地仮登記抹消手続きの進捗状況を確認しました。

平成 25 年 4 月 23 日

相手：総務部長

- ・ 鎌田さんとの協議には出席していない、上司から聞いている。
- ・ 鎌田さんは何回かお出でになった。
- ・ 使用予定の無い土地を受取っても仕方が無い。
- ・ 金を返して欲しいと要請している。
- ・ 金を返してもらえば、すぐに仮登記は抹消する。
- ・ 鎌田さんには現金返済を要請している。
- ・ 最近、訪問を受けていない。
- ・ 鎌田さんの返事待ちの状態である。
- ・ ナンチクとしては動きようが無い。
- ・ ソーラ事業の話は人づてに聞いている。
- ・ 新規事業について融資がどうのというのは鎌田さんの問題であり、ナンチクは言える立場ではない。
- ・ 繰り返しになるが、鎌田さんの出方を待っている。
- ・ ナンチクとしては担保の土地の受領はしない。
- ・ 担保物件の土地がどこであるかは手元に書類が無い、鎌田さんに直接聞いてはどうか？
- ・ この交渉が長引くのはナンチクとしてもこたえる。
- ・ 金利負担も大変だ。
- ・ 資金的に余裕があって事業をやっているわけではない。
- ・ 霧島の養豚場はダメだったが養豚場の新たな案件があれば、次の展開をしなければならない。そのための資金も必要だ。
- ・ メーンバンクの鹿銀の対応も厳しいと思う、他社のことであるから、コメントする立場ではないが。
- ・ 鎌田さんの返事待ちであり、ナンチクとしては動けない。

中村満雄